

平成25年11月吉日

各位

屋久島イベント実行委員会
会長 岩川 尚美

【屋久島世界遺産登録20周年記念シンポジウムのご案内】

謹啓 秋冷の候 益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。
平素より、屋久島の自然保護活動や観光に関しまして、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、屋久島が白神山地とともに、日本で初めて世界自然遺産に登録されて本年12月で20年目を迎えました。

私たち屋久島出郷者は、この節目の年にあたり、故郷屋久島の生物をはじめとする多様性の保護再生活動と観光産業の発展に寄与出来得る活動を行うべく、屋久島イベント実行委員会を立ち上げ、活動中であります。

このたび、その一環としましてチラシに記載されております内容で、記念シンポジウムを開催することとなりました。

屋久島の豊かな恵みを未来へ引き継ぐことについて、各界の先生方にお集まりいただき、講演とディスカッションを実施します。

また、「ウイルソン株」で有名なウイルソン博士が屋久島に来島されて、来年の2月で満100年目を迎えます。

来島時に博士が残した屋久島の写真をご覧いただき、私たちの祖先がいかにして屋久島の自然を100年後の現在に残したかを目のあたりにすることができます。

この機会に、屋久島と地球の環境問題と屋久島の観光についてのご助言を頂ければ幸いです。

なお、お楽しみ抽選会も予定しておりますので、大勢の方々をお誘いいただきご参加いただきますようご案内申し上げます。

謹白

シンポジウム

屋久島の多様性がもたらす 豊かな恵みを 子供たちの未来へ

100年後の子どもたちに、私たちは屋久島の何をどう残していけるのか？

日 時：2013年12月7日(土)
13時30分～17時30分(開場13時)

会 場：東京農業大学 世田谷キャンパス 141号教室

※裏面地図で参照ください。

入 場 料：無料 定 員：200名

お申し込み・お問い合わせ：屋久島イベント実行委員会(株式会社ジェイプランニング内)

TEL:03-5332-3221 FAX:03-3227-0032 e-mail:t-maki@kjp.co.jp

お名前に連絡先と参加人数を添えてお申し込みください。

主催：屋久島イベント実行委員会 後援：鹿児島県・屋久島町・屋久島観光協会・東京農業大学

協力：日本エアコミューター(株) 認定NPO法人富士山クラブ 関東屋久島会

●お楽しみ抽選会あり ●終演後懇親会あり 参加費2,000円 お申し込みは12月5日(木)締切り

今からちょうど100年前、世界を股にかけて活躍していたプラントハンター Dr. ウイルソンは屋久島で偉大な発見をしました。世界自然遺産20周年の今年、屋久杉の森を写した Dr. ウイルソンの写真に3人の島の青年が写っていることが判明！100年後の今、屋久島に豊かな自然が存在している理由をその3人の青年たちの足跡に焦点を当てながら検証します。しかし昨今の地球的規模の自然破壊は屋久島にも及んでいます。先人たちが残してくれた屋久島の多様性を100年後の未来に残していくために各界の識者が集い、保全と再生の方法について話し合います。会場ではハーバード大学所蔵の Dr. ウイルソンの写真を映写します。

シンポジウム最新情報はこちらから
しまマガジン <http://shimanogakko.blogspot.jp/>



富山 和子 (とみやま かずこ)

群馬県生まれ、早稲田大学卒業、評論家、日本福祉大学客員教授、立正大学名誉教授。水、緑の問題を始め、国土の資源や環境問題を総合的な視野からとらえ、文化と環境を守るためには、農業、林業、漁業を大切にしなければならないことを一貫して訴え、鋭い提言を行ってきた。「日本の米」「水と緑と土」「水の文化史」「日本再発見、水の旅」「川は生きている」「道は生きている」「森は生きている」「お米は生きている」「水と緑の国、日本」「環境問題とは何か」「日本の風景を読む」「水と緑 日本の原風景」「海は生きている」など著書多数。富山和子がつくる「日本の米カレンダー」は創刊25周年を迎える。



古居 智子 (ふるい ともこ)

大阪生まれ。北海道大学卒。マサチューセッツ州立大学留学。ボストンでジャーナリストとして活躍後、1994年屋久島に移住。NPO法人屋久島エコ・フェスタ理事長。作家。環境問題に取り組みながら、島の歴史、文化、自然をテーマに執筆活動中。著書『ウィルソンの屋久島』など。



青木 直子 (あおき なおこ)

東京生まれ。早稲田大学卒。新聞記者、国際会議メディアコーディネーター、環境分野のリサーチャーとして日・米・アジアで勤務。2000年から自然環境保護活動を行うNPO法人「富士山クラブ」に勤務、現在認定NPO法人富士山クラブ理事・事務局長。



武生 雅彦 (たきゅう まさひこ)

大分県生まれ。千葉大学大学院自然科学研究科単位取得退学。博士(理学)。財団法人埼玉県生態系保護協会、科学技術振興事業団勤務を経て現在東京農業大学地域環境科学部教授。主な著書は森林の生態学(文一出版)、世界遺産屋久島(朝倉書店)、Co-benefits of sustainable forestry(Springer)(いずれも共著)

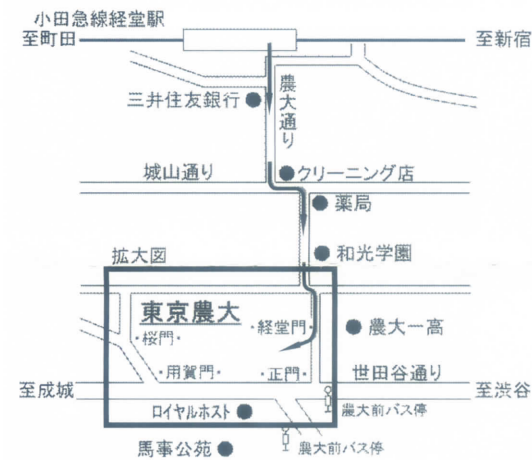


牧 良平 (まき りょうへい)

屋久島生まれ。高校まで屋久島で育つ。中央大学法学部卒。弁護士。屋久島の世界自然遺産登録に深くかかわり、島の生態系や歴史・文化などについても詳しい。関東屋久島会相談役。著書に「屋久島物語」「邪馬台国論争の盲点」など。

アクセス

◎小田急線 経堂駅から徒歩15分



●会場 141教室



◎バス<渋谷駅(西口)~農大前>(30分位)

小田急バス 成城学園前駅西口行…(渋24) 調布駅南口行…(渋26)
東急バス 成城学園前駅西口行…(渋24) 祖師ヶ谷大蔵駅行…(渋23)

当日の連絡先：090-3206-5700(屋久島イベント実行委員会)

屋久島イベント実行委員会は世界自然遺産登録20周年を機会に関東屋久島会が主体となり発足しました。島と関係を取りながら真の意味での発展を考え提案していくための活動を行っています。